

「節水に関する特別世論調査」の概要

平成 22 年 10 月 21 日
内閣府政府広報室

調査概要	調査対象	全国 20 歳以上の者 3,000 人
	有効回収数(率)	1,941 人 (64.7%)
	調査期間	平成 22 年 9 月 9 日～9 月 19 日
	調査方法	調査員による個別面接聴取
調査目的	節水に対する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。	
調査項目	1 水の使い方 2 節水行為の実施状況 3 節水しない理由 4 節水の必要性 5 節水機器の普及状況 6 節水機器の導入需要 7 節水の推進に有効な施策	
調査実績	水に関する世論調査（平成 20 年 6 月，平成 13 年 7 月） 水環境に関する世論調査（平成 11 年 8 月） 人と水とのかかわりに関する世論調査（平成 6 年 9 月） 水資源に関する世論調査（昭和 61 年 8 月）	

＜お願い＞

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

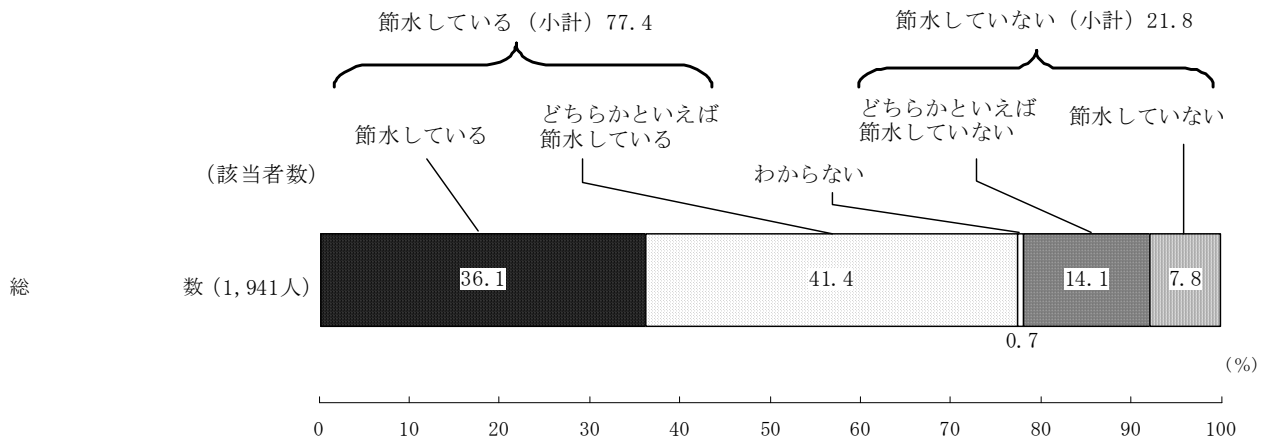
〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1
電話 03(3581)0070
FAX 03(3580)1186

1 水の使い方

(1) 水の使い方

平成 22 年 9 月

- ・ 節水している (小計) 77.4%
- ・ 節水している 36.1%
- ・ どちらかといえば節水している 41.4%
- ・ 節水していない (小計) 21.8%
- ・ どちらかといえば節水していない 14.1%
- ・ 節水していない 7.8%



[参考] 水の使い方

	該 当 者 数	節水している (小計)			節水していない (小計)			特 に 気 に し て い な い	そ の 他	わ か ら な い
		豊富に 使 っ て い る (小計)	使 っ て い る こ と は 考 え ず 、 豊 富 に 使 っ て い る	節 水 に は 必 要 と 思 い な が ら も 、 豊 富 に 使 っ て い る	節 水 し て い る (小計)	あ る 程 度 節 水 を し な が ら 使 っ て い る (注1)	ま め に 節 水 し て 使 っ て い る			
平成 20 年 6 月 調 査	1,839	25.8	4.0	21.8	72.4	58.3	14.0	1.8	-	-
平成 13 年 7 月 調 査	2,111	29.6	5.1	24.5	64.9	54.2	10.7	5.2	0.1	0.1
平成 11 年 8 月 調 査	2,157	27.6	6.0	21.7	64.1	50.3	13.9	7.9	※	0.4
平成 6 年 9 月 調 査	2,113	34.9	9.5	25.4	60.0	50.8	9.1	5.0	※	0.1
昭和 61 年 8 月 調 査	2,405	39.6	12.3	27.3	51.2	41.5	9.7	8.9	※	0.3

(注) 「あなたは、普段の生活で、どのような水の使い方をしていますか。この中から1つあげてください。」と聞いている。

(注1) 平成11年8月調査までは、「多少節水をしながら使っている」となっている。

※：調査をしていない項目

(水の使い方について、「節水している」、「どちらかといえば節水している」と答えた者(1,503人)に)

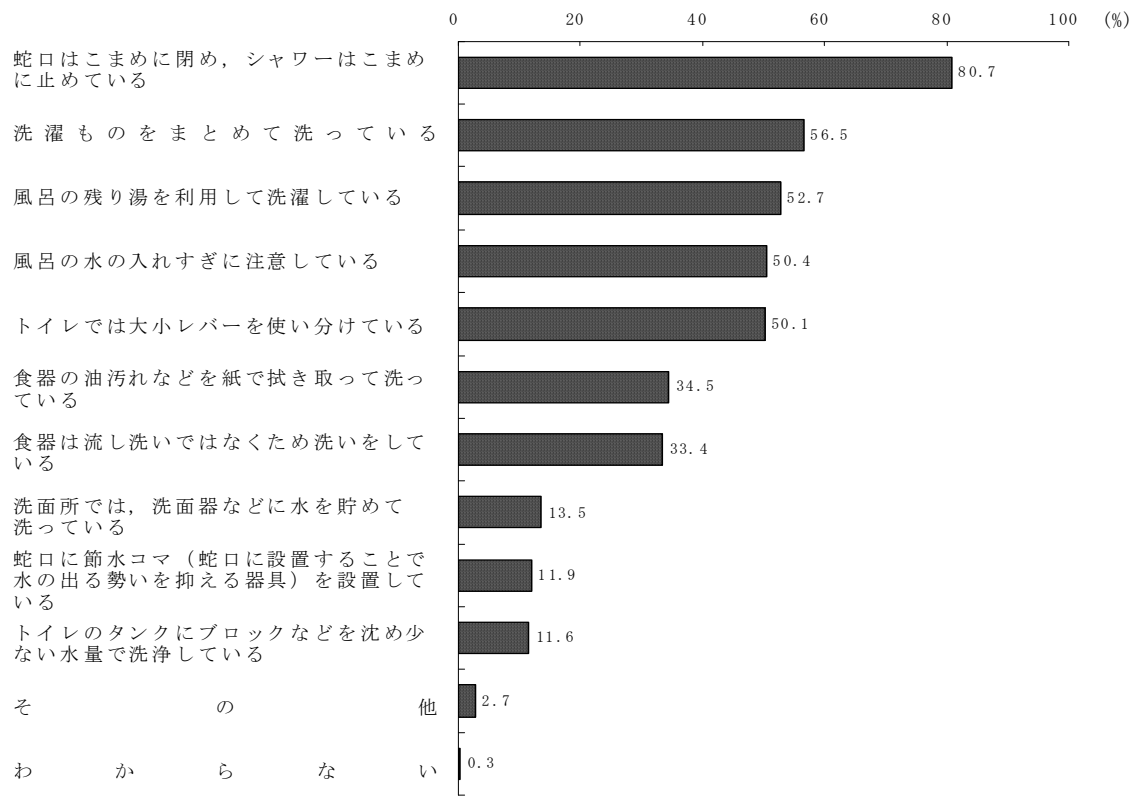
(2) 節水行為の実施状況

(複数回答, 上位5項目)

平成 22 年 9 月

- ・ 蛇口はこまめに閉め, シャワーはこまめに止めている 80.7%
- ・ 洗濯ものをまとめて洗っている 56.5%
- ・ 風呂の残り湯を利用して洗濯している 52.7%
- ・ 風呂の水の入れすぎに注意している 50.4%
- ・ トイレでは大小レバーを使い分けている 50.1%

(「節水している」、「どちらかといえば節水している」と答えた者に, 複数回答)



■総数 (N = 1,503人, M. T. = 398.3%)

[参考] 節水を心掛けている面

(「ある程度節水をしながら使っている」、「まめに節水して使っている」と答えた者に, 複数回答)

	該 当 者 数	風 呂	洗 濯	洗 面	炊 事	散 水	水 洗 ト イ レ	洗 車	飲 料	い 全 よ う の 面 に 心 が け て い る 水 を 使 わ な い	そ の 他	わ か ら な い	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 20 年 6 月 調査	1,331	71.2	55.6	50.3	40.8	28.7	28.5	25.9	13.7	※	0.9	0.1	315.7
平成 13 年 7 月 調査	1,371	60.5	49.8	32.2	29.3	25.4	22.8	21.4	8.0	8.8	0.5	1.7	260.4
平成 6 年 9 月 調査	1,267	54.5	45.9	33.1	26.0	29.0	19.1	26.0	5.9	13.3	1.4	1.1	255.4
昭和 61 年 8 月 調査	1,233	36.8	35.9	14.8	10.5	21.2	7.8	15.7	2.3	28.8	0.4	6.5	180.6

※: 調査をしていない項目

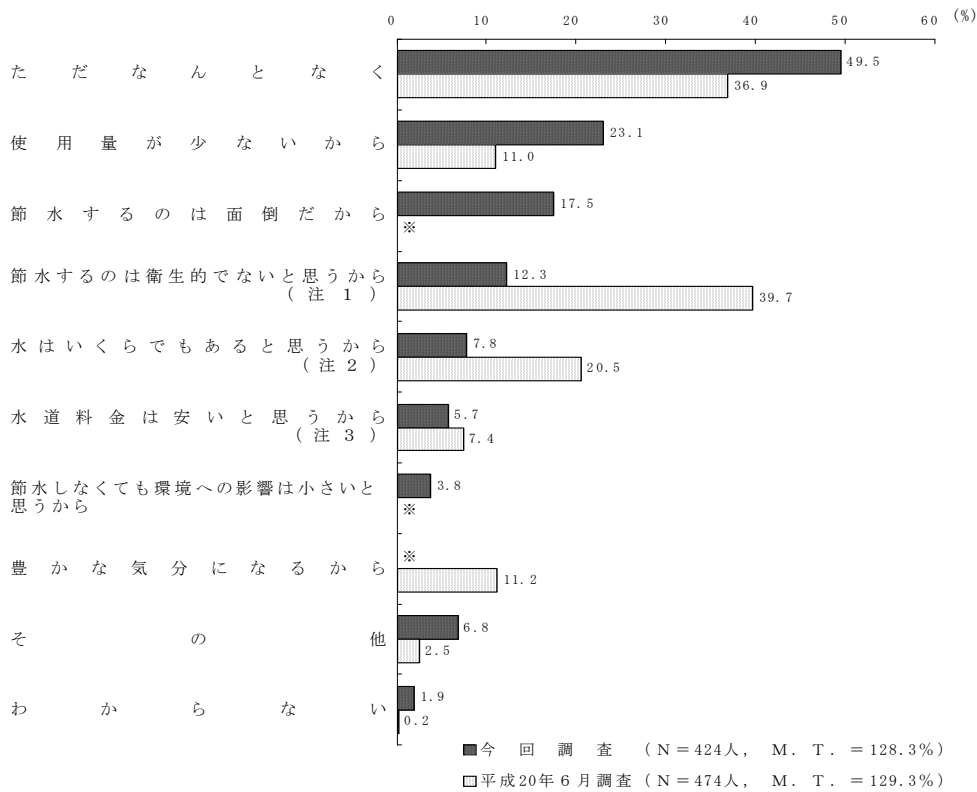
(水の使い方について、「どちらかといえば節水していない」、「節水していない」と答えた者(424人)に)

(3) 節水しない理由

(複数回答, 上位4項目)

	平成20年6月		平成22年9月
・ ただなんとなく	36.9%	→	49.5% (増)
・ 使用量が少ないから	11.0%	→	23.1% (増)
・ 節水するのは面倒だから	※	→	17.5%
・ 節水するのは衛生的でないと思うから	39.7%	→	12.3%

(「どちらかといえば節水していない」、「節水していない」と答えた者に、複数回答)



(注) 平成20年6月調査では、「あなたが、水を豊富に使う理由は何ですか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。
 (注1) 平成20年6月調査では、「衛生的だから」となっている。
 (注2) 平成20年6月調査では、「水はいくらでもあるから」となっている。
 (注3) 平成20年6月調査では、「水道料金は安いから」となっている。

[参考] 水を豊富に使う理由

(「節水のことは考えず、豊富に使っている」、「節水は必要と思いつつも、豊富に使っている」と答えた者に、複数回答)

	該当者数	衛生的だから	ただなんとなく	水はいくらでもあるから	豊かな気分になるから	水道料金は安いから	使用量が少ないから	その他	わからない	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成20年6月調査	474	39.7	36.9	20.5	11.2	7.4	11.0	2.5	0.2	129.3
平成13年7月調査	625	36.6	33.8	21.3	15.8	10.1	8.3	4.0	-	129.9
平成6年9月調査	737	32.7	37.7	30.3	14.5	5.6	9.0	3.0	1.2	133.9
昭和61年8月調査	952	45.3	28.2	25.4	14.7	8.9	8.2	3.2	1.6	135.4

※: 調査をしていない項目

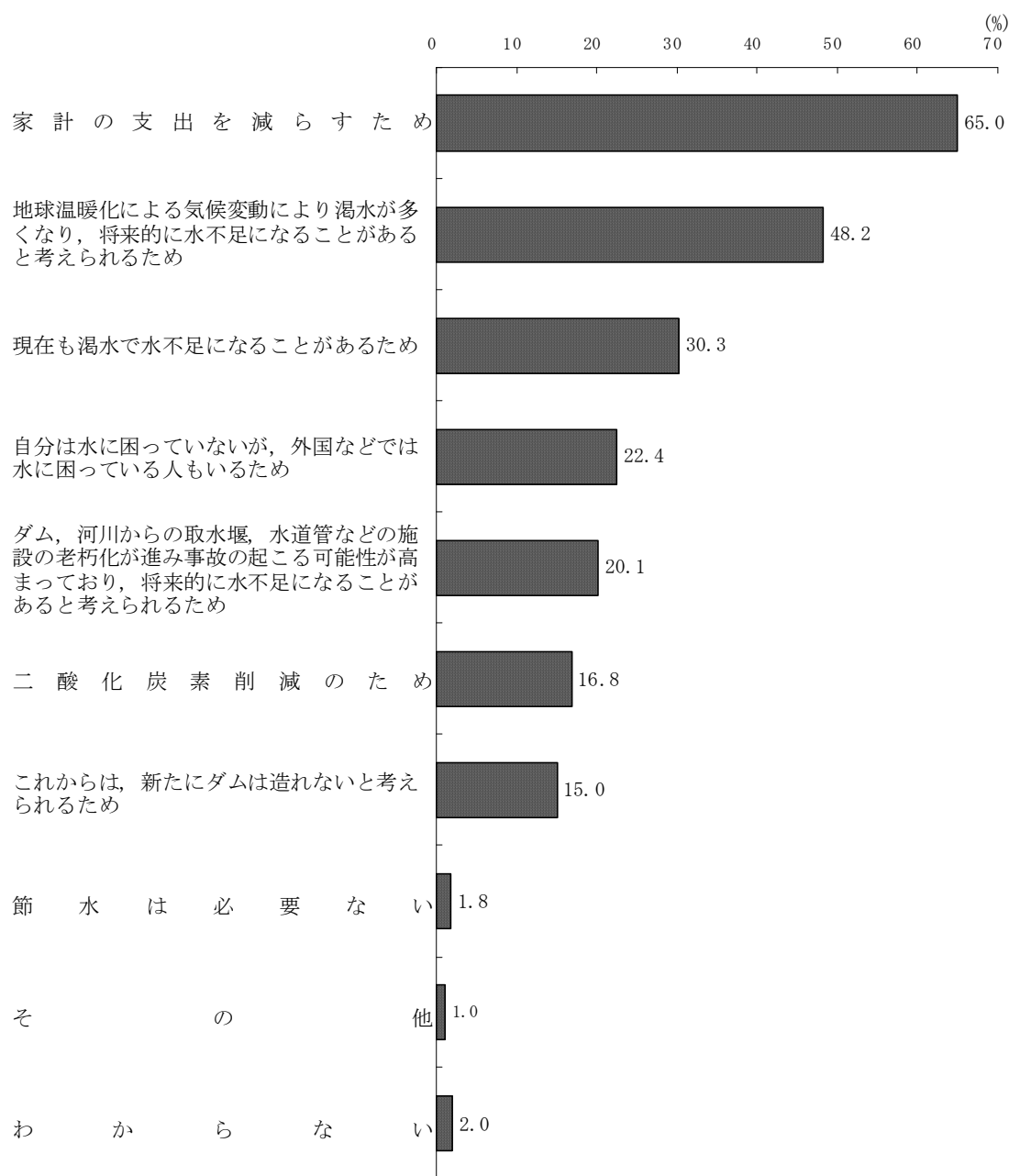
2 節水の必要性

(複数回答, 上位5項目)

平成22年9月

- ・ 家計の支出を減らすため 65.0%
- ・ 地球温暖化による気候変動により渇水が多くなり, 将来的に水不足になることがあると考えられるため 48.2%
- ・ 現在も渇水で水不足になることがあるため 30.3%
- ・ 自分は水に困っていないが, 外国などでは水に困っている人もいるため 22.4%
- ・ ダム, 河川からの取水堰, 水道管などの施設の老朽化が進み事故の起こる可能性が高まっており, 将来的に水不足になることがあると考えられるため 20.1%

(複数回答)



■総数 (N=1,941人, M. T. =222.7%)

3 節水機器の普及状況

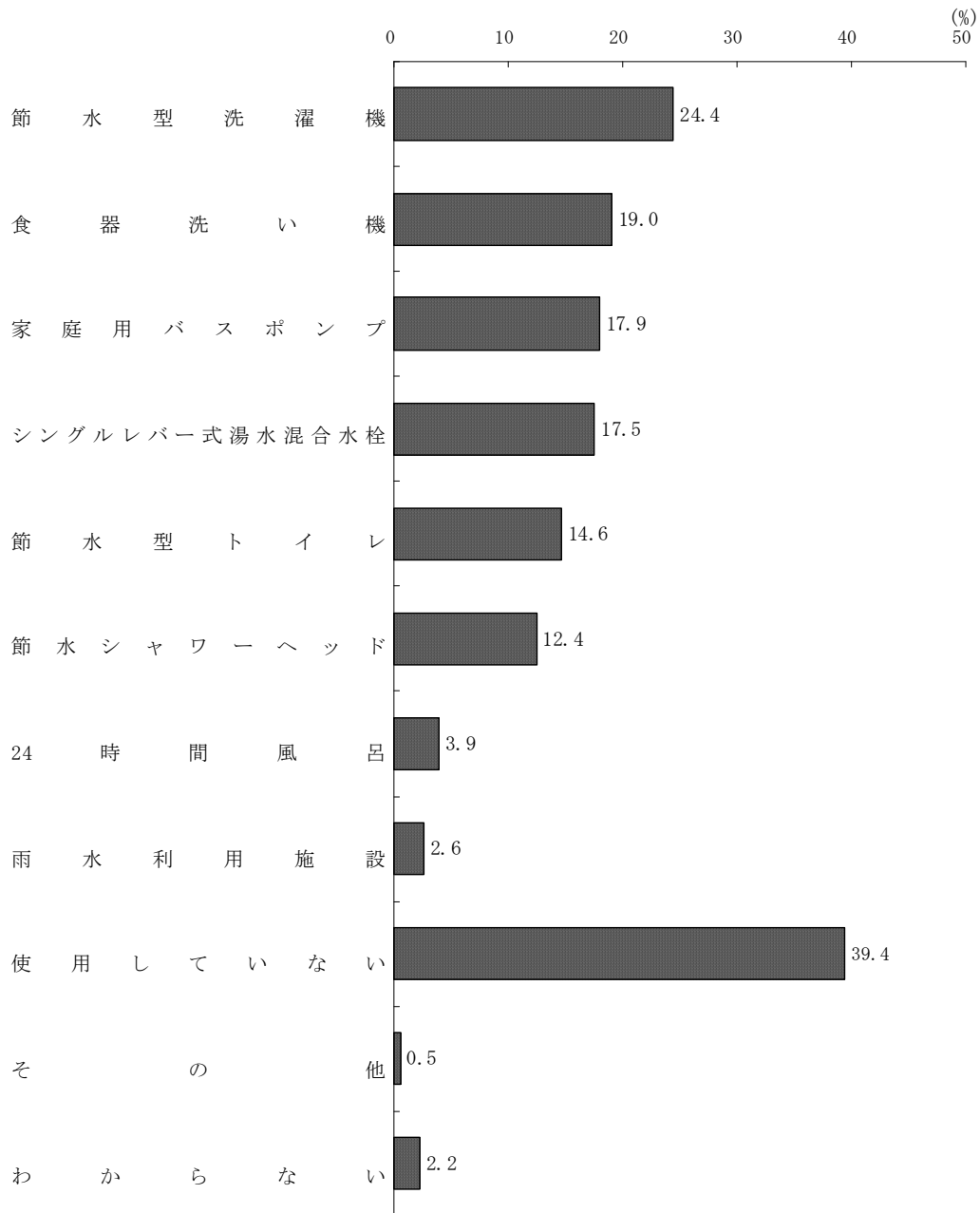
(複数回答, 上位4項目)

平成22年9月

- ・ 節水型洗濯機 24.4%
- ・ 食器洗い機 19.0%
- ・ 家庭用バスポンプ 17.9%
- ・ シングルレバー式湯水混合水栓 17.5%

- ・ 使用していない 39.4%

(複数回答)



■総数 (N=1,941人, M. T. =154.3%)

4 節水機器の導入需要

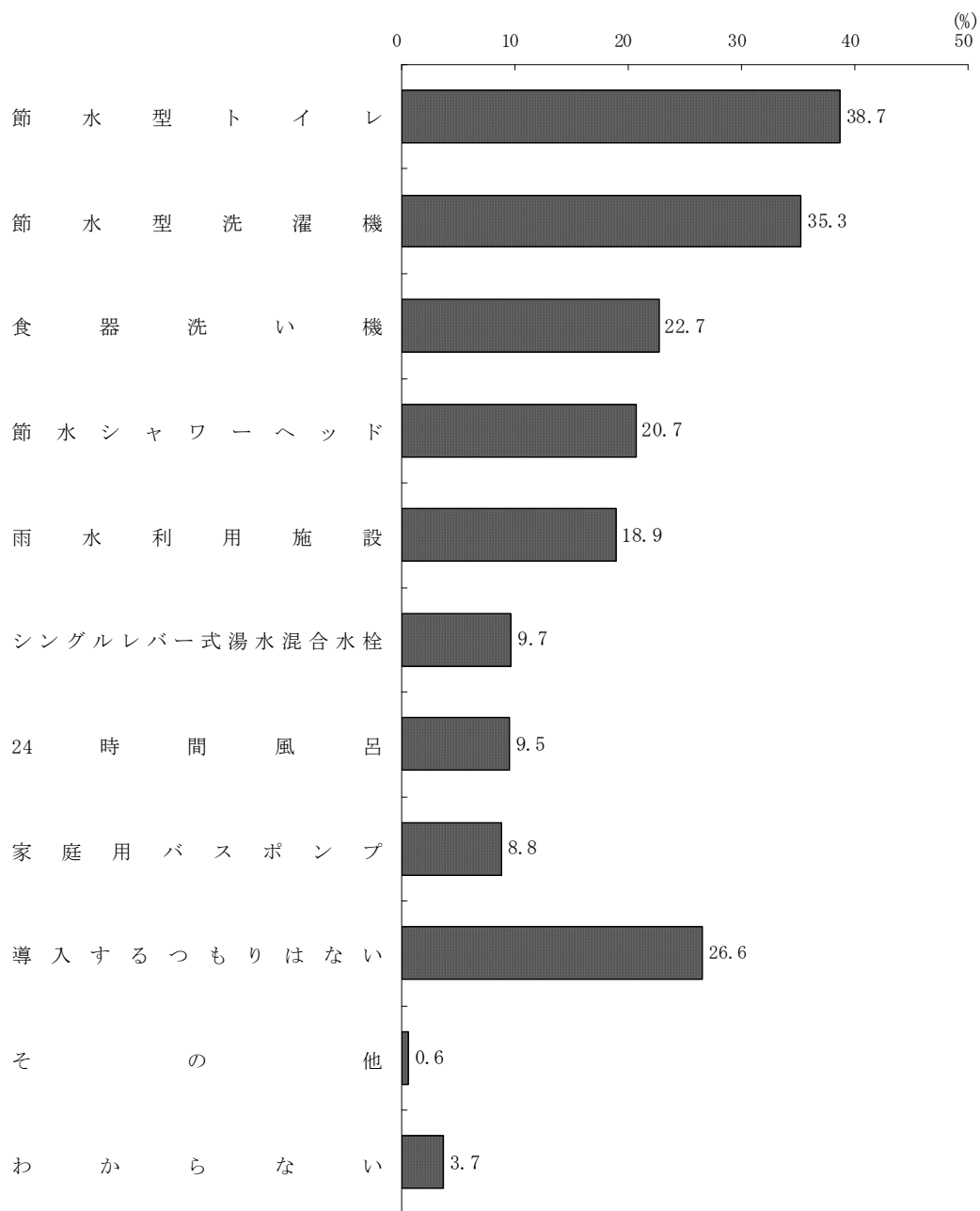
(複数回答, 上位5項目)

平成22年9月

- ・ 節水型トイレ 38.7%
- ・ 節水型洗濯機 35.3%
- ・ 食器洗い機 22.7%
- ・ 節水シャワーヘッド 20.7%
- ・ 雨水利用施設 18.9%

- ・ 導入するつもりはない 26.6%

(複数回答)



■総数 (N=1,941人, M. T. =195.2%)

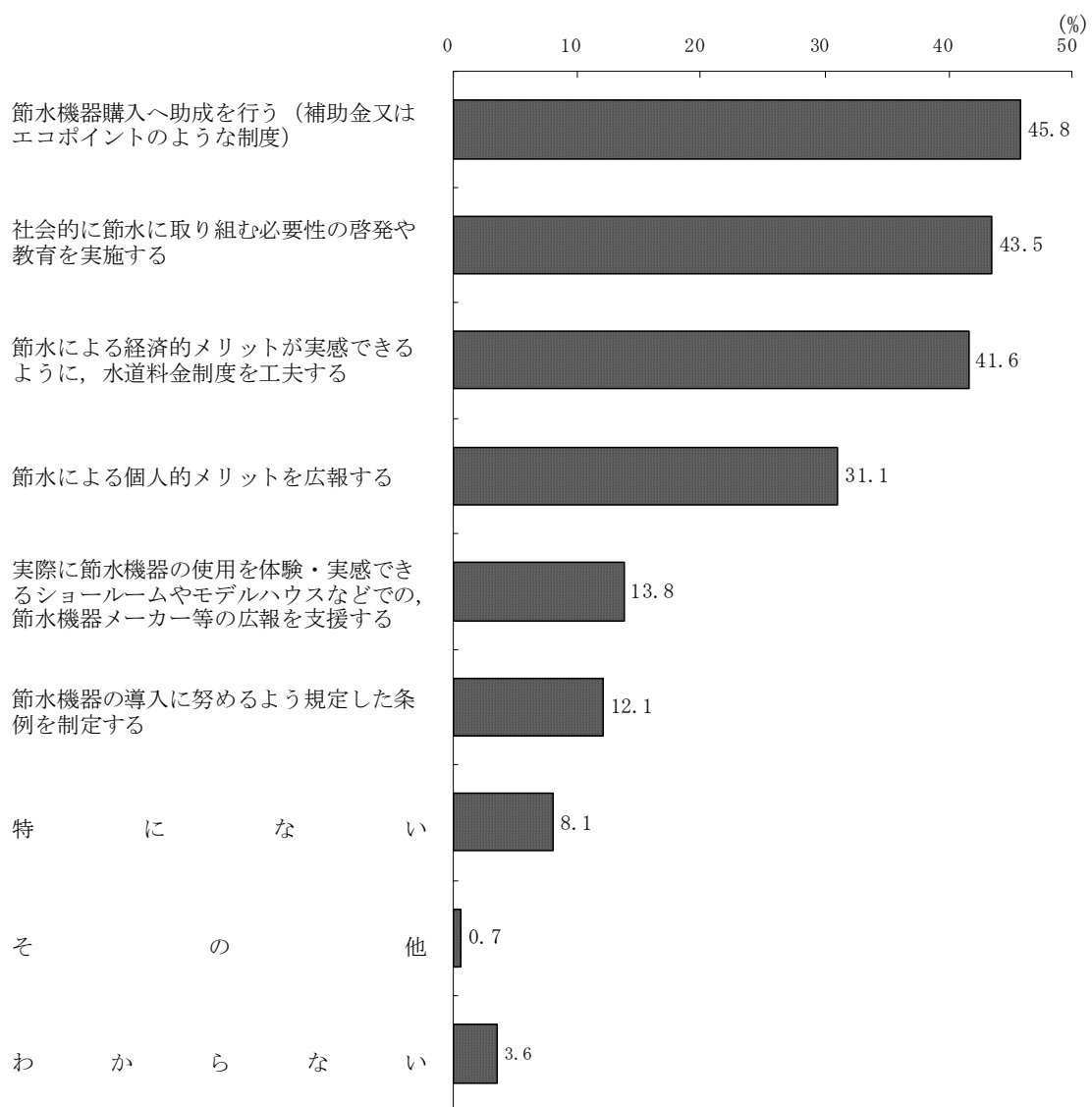
5 節水の推進に有効な施策

(複数回答, 上位4項目)

平成 22 年 9 月

- ・ 節水機器購入へ助成を行う(補助金又はエコポイントのような制度) 45.8%
- ・ 社会的に節水に取り組む必要性の啓発や教育を実施する 43.5%
- ・ 節水による経済的メリットが実感できるように, 水道料金制度を工夫する 41.6%
- ・ 節水による個人的メリットを広報する 31.1%

(複数回答)



■総数 (N=1,941人, M. T. =200.2%)

節水に関する特別世論調査

調査時期：平成22年9月9日～9月19日
 調査対象：全国20歳以上の者3,000人
 有効回収数（率）：1,941人（64.7%）

話は変わりますが、次に時事問題として、「節水」についてお伺いします。

Q1【回答票1】あなたは、普段の生活で節水していますか。この中から1つだけあげてください。

- | | |
|--------|---------------------|
| (36.1) | (ア) 節水している |
| (41.4) | (イ) どちらかといえば節水している |
| (14.1) | (ウ) どちらかといえば節水していない |
| (7.8) | (エ) 節水していない |
| (0.7) | わからない |
- 次ページのQ2へ

【Q1で「ア 節水している」, 「イ どちらかといえ ば節水している」と答えた者に】 (N=1,503)	【Q1で「ウ どちらかといえば節水していない」, 「エ 節水していない」と答えた者に】 (N=424)
S Q a 【回答票2】あなたは、普段の生活でどのように 節水を心掛けていますか。この中からいくつで もあげてください。(M. A.)	S Q b 【回答票3】あなたが節水していないのはどう してですか。この中からいくつでもあげてく ださい。(M. A.)
(80.7) (ア) 蛇口はこまめに閉め、シャワーはこま めに止めている	(7.8) (ア) 水はいくらでもあると思うから
(11.9) (イ) 蛇口に節水コマ(蛇口に設置すること で水の出る勢いを抑える器具)を設置して いる	(5.7) (イ) 水道料金は安いと思うから
(33.4) (ウ) 食器は流し洗いではなくため洗いをして いる	(23.1) (ウ) 使用量が少ないから
(34.5) (エ) 食器の油汚れなどを紙で拭き取って洗っ ている	(12.3) (エ) 節水するのは衛生的でないと思 うから
(52.7) (オ) 風呂の残り湯を利用して洗濯している	(17.5) (オ) 節水するのは面倒だから
(56.5) (カ) 洗濯ものをまとめて洗っている	(3.8) (カ) 節水しなくても環境への影響は小 さいと思うから
(50.4) (キ) 風呂の水の入れすぎに注意している	(49.5) (キ) ただなんとなく
(13.5) (ク) 洗面所では、洗面器などに水を貯めて洗 っている	(6.8) その他 ()
(50.1) (ケ) トイレでは大小レバーを使い分けている	(1.9) わからない
(11.6) (コ) トイレのタンクにブロックなどを沈め少 ない水量で洗浄している	(M. T. =128.3)
(2.7) その他 ()	
(0.3) わからない	
(M. T. =398.3)	

【全員に】

Q 2 【回答票 4】あなたは、どのような理由で節水が必要と思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (30. 3) (ア) 現在も^{かつすい} 渇水で水不足になることがあるため
- (48. 2) (イ) 地球温暖化による気候変動により渇水が多くなり、将来的に水不足になることがあると考えられるため
- (20. 1) (ウ) ダム、河川からの取水堰^{しゅすいぜき}、水道管などの施設の老朽化が進み事故の起こる可能性が高まっており、将来的に水不足になることがあると考えられるため
- (15. 0) (エ) これからは、新たにダムは造れないと考えられるため
- (65. 0) (オ) 家計の支出を減らすため
- (16. 8) (カ) 二酸化炭素削減のため
- (22. 4) (キ) 自分は水に困っていないが、外国などでは水に困っている人もいるため
- (1. 8) (ク) 節水は必要ない
- (1. 0) その他 ()
- (2. 0) わからない

(M. T. =222. 7)

(調査員注：資料を提示して、対象者によく読んでもらってから質問する。)

【資料】

節水機器には以下のようなものがあります。

- ・食器洗い機 (水を循環させて食器の洗浄, すすぎ, 乾燥を自動的に行う機械)
- ・節水型洗濯機 (ドラム式洗濯機, バスポンプ内蔵洗濯機など)
- ・節水型トイレ (洗浄水量の少ないトイレ)
- ・シングルレバー式湯水混合水栓 (レバーひとつで水温・流量が調節可能な水栓^{すいせん})
- ・節水シャワーヘッド (手元一時止水機能付のもの, 一般的なものよりも水の出る量が少ないものなど)
- ・24時間風呂 (浴槽内の湯を浄化して再利用できる風呂)
- ・家庭用バスポンプ (洗濯などに利用するため風呂の残り湯をくみ上げるポンプ)
- ・雨水利用施設^{うすいりようしせつ} (雨水を貯留し, 家庭内の様々な雑用水として利用できる施設)

節水機器の多くは, 生活の快適さを保ちながら, あるいは向上させながら水の使用量を少なくすることができます。一方で, 節水機器を導入するには費用がかかります。

Q 3 【回答票 5】あなたは、どのような節水機器を使用していますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (19. 0) (ア) 食器洗い機
- (24. 4) (イ) 節水型洗濯機
- (14. 6) (ウ) 節水型トイレ
- (17. 5) (エ) シングルレバー式湯水混合水栓^{ゆみずこんごうすいせん}
- (12. 4) (オ) 節水シャワーヘッド
- (3. 9) (カ) 24時間風呂
- (17. 9) (キ) 家庭用バスポンプ
- (2. 6) (ク) 雨水利用施設^{うすいりようしせつ}
- (39. 4) (ケ) 使用していない
- (0. 5) その他 ()
- (2. 2) わからない

(M. T. =154. 3)

Q 4【回答票6】あなたは、機器の新規購入時や買い換え時、住宅リフォームの際などに、どのような節水機器を導入したいと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (22.7) (ア) 食器洗い機
- (35.3) (イ) 節水型洗濯機
- (38.7) (ウ) 節水型トイレ
- (9.7) (エ) シングルレバー式湯水混合水栓ゆみずこんごうすいせん
- (20.7) (オ) 節水シャワーヘッド
- (9.5) (カ) 24時間風呂
- (8.8) (キ) 家庭用バスポンプ
- (18.9) (ク) 雨水利用施設うすいりようしせつ
- (26.6) (ケ) 導入するつもりはない
- (0.6) その他 ()
- (3.7) わからない

(M. T. =195.2)

Q 5【回答票7】あなたは、節水推進のためにはどのような施策が有効と考えますか。この中からいくつでもあげてください。(M. A.)

- (43.5) (ア) 社会的に節水に取り組む必要性の啓発や教育を実施する
- (31.1) (イ) 節水による個人的メリットを広報する
- (41.6) (ウ) 節水による経済的メリットが実感できるように、水道料金制度を工夫する
- (13.8) (エ) 実際に節水機器の使用を体験・実感できるショールームやモデルハウスなどでの、節水機器メーカー等の広報を支援する
- (12.1) (オ) 節水機器の導入に努めるよう規定した条例を制定する
- (45.8) (カ) 節水機器購入へ助成を行う(補助金又はエコポイントのような制度)
- (8.1) 特にない
- (0.7) その他 ()
- (3.6) わからない

(M. T. =200.2)